

ぽかぽか

やってみよう！
～自分から みんなで～
志方東小学校
道徳だより 第1号
R8.6.22 発行

道徳教育にかかわる学校の取り組みやくらしの中で課題になったこと等をこのたよりで紹介させていただきます。学期に1回程度の発行ですが、これを通してご家庭で話し合いの機会をもっといただけたら幸いです。

インターネットトラブル防止講座から 6/10

3校時にインターネットトラブル防止講座（PTA 家庭教育大学を兼ねて）を全校児童と保護者・地域の皆さんの参加のもとに行いました。たくさんのご参加、本当にありがとうございました。

毎年お世話になっている篠原嘉一先生を講師に迎え、気をつけなければならない最新の情報等いろいろと教えていただきました。やりすぎによる脳への影響、強い刺激と我慢づよさとの関係、また今年はAI についての話、等々、正しく安全に扱うことの大切さについて、改めてふりかえることができました。今一度家庭でも使い方についてお子様と確認していただければと思っています。



（大人の感想から）

- ◎講座を受けて本当に良かったなと思いました。インターネットは便利ですが、知らずに加害者になっている場合があるとは思いませんでした。また入力した内容からカード情報など全て流れてしまうアプリがある存在に危険を感じました。スマホを使っていない時にも会話などを収集しているのは…早速スマホ置き場はTV前にします。どんどん新しくなっていく情報を毎年学ばせてもらえるのはとてもありがたいです。
- ◎インターネットトラブル講座は大変興味深く聞かせていただきました。スマホは子供や私達大人にとって身近なものなので、気を付けて使わなければ…と危機感さえ覚えました。便利なものですが、上手に使うように心がけていきたいと思います。ありがとうございました！防止講座も、大切な情報がたくさんあったので参加できて良かったです。
- ◎今日紹介されたアプリで自分も使っているものがあったので、怖くなりました。個人情報盗まれている可能性を学べたので、とても良かったです。このような講義をもっと聴きたいと思いました。
- ◎講座は大変興味深く聞かせていただきました。スマホは子供や私達大人にとって身近なものなので、気を付けて使わなければ…と危機感さえ覚えました。便利なものですが、上手に使うように心がけていきたいと思います。ありがとうございました！
- ◎最新の情報をありがとうございました。子どもたちも真剣に聴いていました。我が子も篠原先生のお話をいつも心に留めてゲームやyoutubeに向き合っています。
- ◎幼少期にユーチューブやテックトックを見ると悪影響があることがわかった。スマホは使い方次第で脳に与える影響が大きいことがわかった。また、アプリによっては情報の流出や位置情報を特定されるなど非常に危険を感じた。アプリの特性をしっかりと理解し、安全に利用したい。

（6年 児童の感想から）

- ◎毎年違う内容で、今年の最新情報が聞けてよかったです。なぜなら、普段使うアプリでも自分が安全に使っているつもりだったとしても、設定が（例えば）個人情報分かるようになっていたりすることもあるのでこれからは気をつけたいです。最初の「OK」か「キャンセル」をするときは、ちゃんと注意書きを読んでから同意するということがわかりました。それから、依存しないように20分で終わるということを心がけたいです。あと、ショート動画を徐々に見る数を減らして、最終的にはゼロにしたいです。これらのことを踏まえて、設定を変えたり、日頃から気をつけたりしていきます。SNS系のアプリを楽しく見るためにもそうしたいと改めて思いました。

- ◎Chatgpt は安全な AI だと思っていたけど、自分が検索したり調べたりしたやつは他の人の検索に出してしまうのが怖いと思いました。他にも TikTok や Yuutilyuubu も、小学生は使ってはいけないことがわかりました。ゲームは1時間でやめられるなら、やってもいいんだと初めて知りました。インスタとか、居場所がわかったりする機能は、本当に何を目的に作っているのか全くわかりません。そのせいで誘拐?なども起きてしまう。そういう機能は全部のゲームから早く消してほしいと思いました。
- ◎毎年新しい情報や変わったことなどを教えてくださいるので、気をつけなければいけないと思いました。特に Instagram の Instant という機能が怖いと思います。急にボタンが出てきて押してしまうと内カメラで自撮りされて、インスタに送信なんて、ほぼ盗撮と同じだと思ったからです。インターネットトラブル防止講座を通して、思っていた以上に自分も巻き込まれるかも知れないことがわかりました。

日々更新されていく情報の世界においては、次々と新しい課題がでてきていることがわかります。使い方を間違えるととんでもないことに巻き込まれます。複雑化しているスマホやゲーム機への対応、依存症の問題を含め、改めて危機意識をもつ必要性を感じました。本校では、毎年全校児童でこの講座を受けることができます。それは小規模校の良さでもあります。子どもたちの中にこれまでの積み上げができていて、また保護者様も一緒に聞いていただき啓発が進んでいることもあり、重大なトラブルに巻き込まれたケースは今のところありません。それは大変ありがたいことです。

道徳の授業から

1年 「あいさつをすると」 礼儀

1年生にとって挨拶の意味や効果を実感させ、礼儀や思いやりの心を養う教材です。児童が自分の行動を振り返り、挨拶が相手と自分に与えるよい影響を体験的に学びました。



- ただあいさつするだけではだめ。目を見て元気にならないといけない。
- あいさつをされるといい気持ちになる。
- あいさつをされないと悲しい気持ち、寂しい気持ちになる。
- てきとうにあいさつされると、あいさつをしてくれても嫌な気持ちになる。

2年 「金のおの」正直・誠実

有名な童話をもとに、正直であることの意味や誠実な心の価値について、自分の行動に置き換えながら考えました。



- これからは、うそをつかずにとくをしたいです。
- うそをつくとわるくて、バチがあたるからだめだと思いました。
- わたしは、いいことをつづけてみます。
- なにごともしょうじきにいうことが大切。
- うそをつかずにしょうじきに言うのがだいじだとわかりました。
- しょうじきなことをつたえたら、うれしいことがおきるのがわかった。

3・4年 「みんなの学校なのに」 集団生活の充実

互いに協力することで楽しい学級や学校生活をつくらうとする態度を育てることがねらいであり、子ども自身が自分の行動や学級での役割を振り返り、協力の大切さを考えました。



- 学級からけんかやいじめをなくして、助け合う学級にしたい。
- クラスのためにがんばっている人がいたら、手伝ったり応援したりしたい。
- みんなのためにがんばっているから、自分も頑張らなきゃと思う。
- 手伝ったりできることを探して、自分ができたい。
- がんばっている子がいたら、「がんばれ」と応援する。「手伝おか?」と言って自分も手伝う。

5年 「遠足の子どもたち」自由と責任

児童が自分の行動を振り返り、自由の中でどう責任を持つかを考える力を養うことがねらいでした。日常生活や遠足の場面を通じて「自由と責任」の関係について具体的に考え、意見を申し合いました。

- これからもゴミをひろったり、別のところのそうじをしたりして、みんなを笑顔にさせたいし、自分のこともしっかりやって、りっぱな大人、高学年になりたい。
- ルールを守って、みんなをさわやかな気持ちにする。ルールを守るとみんなが気持ちよくなる。
- いつもできているけど、ルールをこれからも守りたいと思います。自分自身のためにルールを守る。
- これからもみんなにたよらず自分で考えて行動したいと思いました。自分で考えてレベルアップしたいと思いました。